

つながる つなげる
安全・健康・ウェルビーイングのために

生産性と安全性

従業員

ウェルビーイング

意識改革

企業価値向上

ウェルビーイング
・テック

アイデア創出

一般社団法人セーフティグローバル推進機構 (The Institute of Global Safety Promotion:IGSAP)は、新しい安全の概念/技術「協調安全/ Safety 2.0」を提唱し、その普及・推進を通して、働く人の安全と企業価値の向上に貢献することを目的に設立されました。「協調安全/Safety 2.0」は、働く人の安全を第一に考え、デジタル技術を駆使しながら安心して働ける環境、能力を最大限発揮できる環境を確保することにより、働きがいや生きがいを高めることを目指しています。この考え方は、働く人の安全・健康・ウェルビーイングを実現するものであり、世界で一大ムーブメントに発展。当機構は国際連合の専門機関である世界保健機構 (WHO)、世界労働機関 (ILO)、また国際社会保障協会 (ISSA)、英国労働安全衛生協会 (IOSH)、ドイツ法定労災保険 (DGUV)、ORP国際財団 (FIORP)、フィンランド労働衛生研究所 (FIOH)、国際労働衛生工学協会 (IOHA)、国際労働衛生委員会 (ICOH)を含む多数の海外機関・企業と連携して活動しています。



井上 悟志 会長
(東京理科大学大学院経営学研究所)

その取り組みは、「技術」「人」「マネジメント」「ルール」による包括的アプローチに基づきます。当機構は、Safety 2.0を活用した「ウェルビーイング・テック」を提唱し、働く人のウェルビーイングを技術で高める活動を世界をリードしています。

主な活動実績

ACTIVITIES

2016年

- 一般社団法人セーフティグローバル推進機構設立

2017年

- 第1回国際安全シンポジウム開催
- 第2回国際安全シンポジウム開催

2018年

- Safety 2.0適合審査登録制度スタート
- ロボット・セーフティアセッサ (RSA) 資格認証制度スタート
- 第3回国際安全シンポジウム開催

2019年

- 第4回国際安全シンポジウム開催

2020年

- セーフティオフィサ (SO) 資格認証制度スタート
- IEC白書“Safety in the Future” (未来の安全) 企画編集

2022年

- 第2回ビジョン・ゼロ・サミット・ジャパン 2022 開催

2023年

- 書籍『実践！ウェルビーイング 世界最強メソッド「ビジョン・ゼロ」』著作
- 未来モノづくり国際EXPO 2023 展示会出展

2024年

- ウェルビーイング・テック国際フォーラム開催

2025年

- 大阪・関西万博のプログラムの一環として「安全・健康・ウェルビーイング」の国際イベント開催

ウェルビーイングへのアプローチ

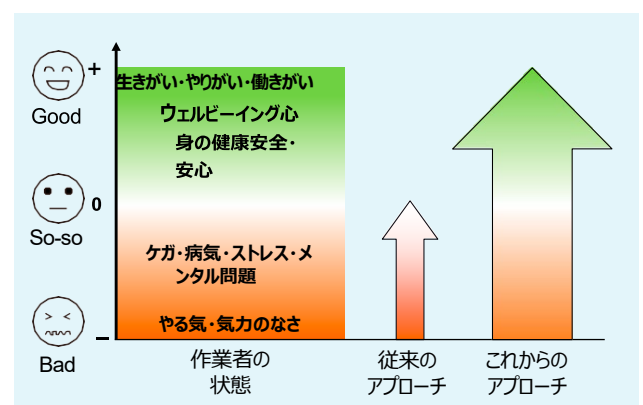
APPROACH FOR WELL-BEING

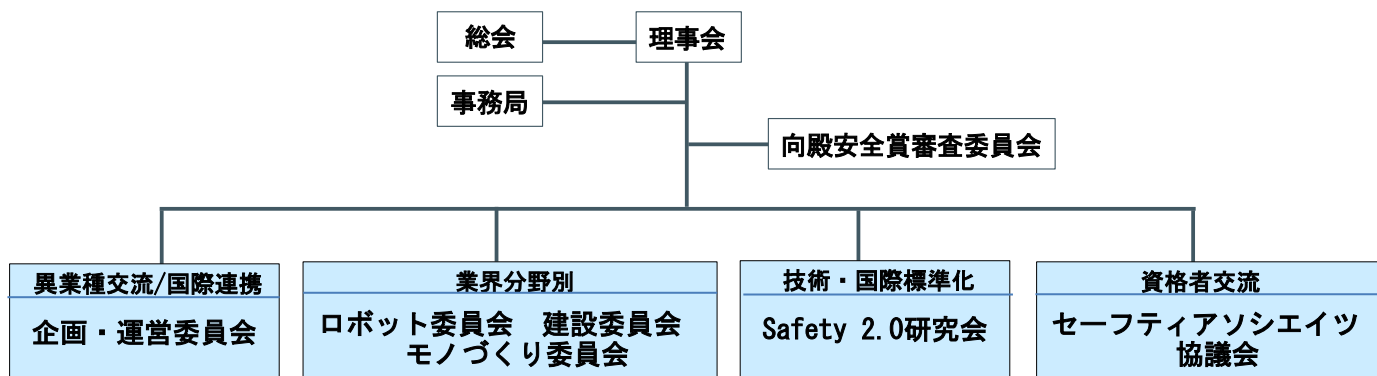
セーフティグローバル推進機構は、働く人のウェルビーイングを「『安全』と『健康』を含む広義のウェルビーイング」と捉え、その実現に向けて新しいアプローチを提唱・推進しています。

それは、ケガや事故、精神的なストレスによる不調、心労、支障などにつながるリスクを払拭する、従来の「マイナス⇒ゼロ」のアプローチの先にあります。具体的には、身体や精神の健康、パフォーマンスの向上、働きがいや生きがいの醸成を促進する、「ゼロ⇒プラス」のアプローチです。

当機構ではこのアプローチを、Safety 2.0を活用した「ウェルビーイング・テック」で可能にし、働く人のウェルビーイングを高めていきます。

ビジネスの世界で注目を集める「ウェルビーイング」





会員参加型委員会の活動内容

企画・運営委員会

セーフティグローバル推進機構の活動全体を俯瞰し、各委員会・研究会の連携促進と運営方針の整理を担います。国内外の最新動向について情報を共有し、「安全経営フォーラム」や各種イベントの企画・推進を通じて、会員間の交流と価値創出を図ります。

ロボット委員会

ロボットシステムのオペレーションやインテグレーションの安全化に向け、人材育成および安全資格制度の構築・普及を推進します。World Robot Summitにおける安全監視団の派遣や実機見学等を通じて、現場での実装力向上と企業のロボットシステムの導入現場での安全化を支援します。

建設委員会

建設現場の生産性と安全性の両立を目指し、協調安全/Safety 2.0の導入と定着を推進します。ワークショップや現場見学を通じて理解を深め、先進事例の共有により、建設分野における新たな安全モデルの構築と人材育成を図ります。

モノづくり委員会

モノづくり現場への協調安全の普及を目的とし、安全性と生産性を両立できる現場構築を推進します。会員による安全方策の事例共有や意見交換を通じて、働く人のウェルビーイングの実現を目指し、協調安全に関するガイドや標準化活動にも取り組みます。

Safety 2.0研究会

協調安全に関する新たな知見を幅広く収集・整理し、その具現化に向けた技術の調査・研究を行います。事例発表や意見交換、見学会を通じて産学連携による議論を深め、協調安全技術の適用拡大と現場への実装促進を図ります。

セーフティアソシエツ協議会

「セーフティアセッサ」「ロボットセーフティアセッサ」「セーフティオフィサ」の安全資格取得者によるネットワーク。スキルアップミーティングを通じて技術力向上と情報交流を促進し、知見共有や活動機会の創出により、実務力と社会的認知の向上、安全分野のプレゼンス向上に貢献します。

入会メリット



会長	井上 悟志	東京理科大学大学院経営学研究科
理事	小平 紀生	一般社団法人日本ロボットシステムインテグレータ協会
	梶屋 俊幸	IECEE 認証管理委員会
	河田 孝志	河田コンサルタント事務所
	後閑 淳司	鹿島建設株式会社
	栗原 潤	一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所
	吹田 和嗣	大同大学工学部機械システム工学科
	小宮山 弘樹	特別民間法人 中央労働災害防止協会
	釜石 英雄	釜石労働安全コンサルタント事務所
	赤松 浩二	日本認証株式会社
	谷川 民生	国立研究開発法人 産業技術総合研究所
監事	野田 耕一	一般財団法人日本規格協会

年会費

正会員 入会金20万円 年会費40万円

MEMBERSHIP

会員一覧

2026年6月1日現在

MEMBERS

法人・団体正会員 (50音順)

IDEC株式会社	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
株式会社EARTHRAIN	一般社団法人日本電気制御技術工業会
株式会社アトリエ	日本認証株式会社
NTTアノードエナジー株式会社	株式会社パトライト
エフティーエス株式会社	パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
沖電気工業株式会社	パナソニック コネクト株式会社
株式会社演算工房	パナソニック ホールディングス株式会社
株式会社大林組	日立建機株式会社
オムロン株式会社	ファナック株式会社
花王株式会社	株式会社不二越
鹿島建設株式会社	富士電機株式会社
清水建設株式会社	古河機械金属株式会社
新東工業株式会社	三菱自動車工業株式会社
セイコーエプソン株式会社	三菱重工業株式会社
株式会社ダイフク	三菱電機株式会社
大和ハウス工業株式会社	株式会社安川電機
中央労働災害防止協会	
株式会社デンソー	法人・団体賛助会員 (同)
東珠株式会社	旭化成株式会社
株式会社トヨコー	アズビル株式会社
トヨタ自動車株式会社	株式会社竹中土木
ニシオティーアンドエム株式会社	日揮グローバル株式会社
西松建設株式会社	日東電工株式会社
株式会社日経BP	
日産自動車株式会社	個人賛助会員
株式会社NIPPO	2,005 名

お問い合わせ

CONTACT US

一般社団法人セーフティグローバル推進機構 事務局
 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番6号 クロスオフィス内幸町404号室
 Tel: 03-3500-3602 Email: sec@institute-gsafety.com



SG101
 202606-0. 2A